

鶴丸眼科に通院中または過去に通院された患者さま、またはご家族の方へ当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2026 年 1 月 7 日

「涙道閉塞の涙液メニスカス画像解析」に関する研究を実施しています。

くまもと県北病院倫理委員会の審査による承認を得て、上記研究を実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、
研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	202528
課題名	涙道閉塞の涙液メニスカス画像解析
所属（診療科等）	鶴丸眼科
研究責任者	鶴丸修士
研究実施期間	2026年1月～2027年3月
研究の意義・目的	本研究では、涙の通り道がつまる「涙道閉塞」や炎症を伴う「涙のう炎」といった病気に関連する涙の状態を、眼の負担の少ない検査で詳しく調べることを目的としています。 従来は、これらの病気の診断や涙のたまり具合を調べるために、眼を押ししたり、液体を流したりする必要がありました。しかし最近では、特殊なカメラ(前眼部OCT)を使って、眼に負担をかけずに涙のたまり方や性質を画像として確認できるようになってきました。 本研究では、この画像から涙の状態(濁りや粘り気など)を数値として評価する方法を検討し、炎症の有無や重症度を客観的に評価する技術の開発を目指しています。これにより、より正確で負担の少ない診断ができるようになる可能性があります。
対象となる方	2025年8月1日～10月31日に鶴丸眼科で涙道内視鏡検査をうけた涙道閉塞(狭窄含む)の方
利用する診療記録・検体	診療録内の年齢、性別、診断名、どちらの眼に症状があるか、涙の画像、閉塞部位等
研究方法	後ろ向き観察研究
問合せ先	鶴丸眼科 院長 鶴丸修士 電話番号：0942-52-0002

- 診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。
- 当院外へお名前や個人情報がでることはありません。
- 必要な情報のみを集計します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者さまを特定できる個人情報を利用しません。

- この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またご不明な点については上記問合せ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

- 研究不参加を申し出られた場合でも、何ら不利益を受けることはありません。

ただし、同意取り消しの申し出をいただいていた時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や試料や情報が匿名化されて個人情報が全く特定できない場合などには結果を廃棄できないことがあり、引き続き使用させていただくことがあります。